

北海道知事 鈴木 直道 様
根室振興局長 所 健一郎 様

日頃より北海道および根室管内の行政推進へご尽力されていることに心より敬意を表します。

このたび、日本共産党釧根地区委員会と日本共産党根室管内地方議員により、下記の要望事項を取りまとめました。貴職におかれましては関係機関への要請なども含めご高配下されますようお願い申し上げます。

日本共産党 釧根地区委員会
日本共産党 根室管内地方議員団

記

根室管内 共通 要望事項

1. 農業・酪農業の保護・育成について

- (1) アメリカとの関税交渉で、農産物の輸入がさらに自由化され拡大されることのないよう政府に強く働きかけること。
- (2) 食料自給率向上を農政の柱にし、そのための施策と予算の抜本的な拡充を国に強く求めること。
- (3) 飼・肥料、建設資材、燃料、電気代などが高止まりしていることへの万全の対策を国に求めるとともに、道独自の対策を早急にとること。
- (4) クラスタ事業など大規模化のために生じた負債の返還期限を延ばすよう政策的手だてを講じること。
- (5) TPP11、日欧 EPA、日米貿易協定、RCEP など貿易・経済協定に関し国益に反するものについては見直しを行うよう国に強く求めること。
- (6) 離農をくいとめる有効な施策を実施すること。
 - ① 経営の継承（親元、親戚、第三者）や新規就農に対する手厚い支援を本気になって取り組むこと。大型、規模拡大、機械化などの条件をつけず、就農者が希望する規模、形態（放牧を含め）で就農できるよう道として取り組むこと。
※後継者不在、高齢化などにより経営継承が困難となっている農業者に対する抜本的経営継承支援策を構築し実施することを求めてきたが、離農が増加する傾向が続き、有効な施策となっていない。
- (7) 酪農ヘルパー事業への道の補助を元に戻し、更なる増額を行うこと。また、酪農ヘルパーは専門性も高い職種であり、酪農家が安心して利用できる酪農ヘルパーが確保できるよう国に要望すること。

2. 水産業対策について

- (1) 対ロシア漁業外交の強力な推進。
 - ① 北方四島周辺海域における安全操業の再開および漁業者が拿捕などの危険にさらされることなく操業が出来るよう国に求めること。
- (2) サンマ、サケ等の不漁に対し、資源量ほか海洋環境の変化等に対する科学的な調査と適正な資源管理方法についての研究を推進すること。
- (3) 燃油高騰に対する支援策の充実。
- (4) 漁業共済・積立プラス制度の拡充など、漁業者の所得対策の確立を図り、漁業を持続可能な産業として強化する制度の充実。
- (5) 後継者対策など若い世代が就業しやすい環境の整備にむけた施策の充実。

3. 「北方領土」に関する問題について

- (1) 北方領土問題の解決にむけて、国際正義と道理に基づく外交交渉を行うこと。
- (2) 北方墓参の早期再開。
- (3) 隣接地域の振興対策について。
 - ① 北方基金事業について、隣接地域と十分な協議のうえ、新規事業をふくめ地域振興に必要な事業に対する財源対策を引き続き十分に行うこと。
 - ② 北海道が主体となって隣接地域と綿密な協議・連携を図りながら、新たな「一括交付金」制度創設など、長期的な視点での地域財源確保対策を確立するよう国に求めること。
- (4) 返還運動の後継者を育成する事業および活動参加に対する財政的な支援の強化。
 - ① 北方四島交流事業の使用船「えとぴりか」について、引き続き啓発事業にも積極的な活用を図ること。
- (5) 広報・啓発の強化に向けて、より多くの国民が領土問題の現地として隣接地域を訪問するための取り組みを促進すること。
 - ① 「北方領土学習」を目的とした修学旅行等に対する事業の継続と補助金額の増額など支援の強化を図ること。
 - ② 標津町の北方領土館をはじめ隣接地域にある各啓発施設の老朽化が進んでおり、建て替えや大規模改修を進めるとともに、内部の展示等も適宜更新を図りながら、より魅力ある施設となるよう整備促進すること。

4. 矢臼別演習場について

- (1) 沖縄県道 104 号線越え実弾射撃訓練の分散・実施（在沖縄米海兵隊の移転訓練）について。
 - ① 矢臼別演習場での移転訓練の拡大、並びに移転訓練の矢臼別演習場への固定化をさせないよう関係機関に強く働きかけること。
※矢臼別演習場で、4年連続の移転訓練の次の年は実施されることが慣行となっていたが、今回初めて連続して5年目の訓練が実施。私たちは移転訓練の拡大傾向に警鐘を鳴らし、拡大されないよう強く要望してきたが、さらに拡大が進んだと受け止めている。

- ② 野火の発生等の事故に対する徹底した原因究明と再発防止対策を関係機関に強く働きかけること。

※今回の移転訓練で車両の搬入移動中に3件の接触事故を起こし、さらに小火器射撃による野火が発生。仮に次回移転訓練が際、このような事故が起こった場合は直ちに海兵隊を帰還させるようなルールづくりをするよう関係機関に働きかけていただきたい。

- ③ 移転訓練における夜間訓練は行わないよう関係機関に強く求めること。
- (2) 日米共同訓練で計根別着陸場の使用を止めるよう関係機関に働きかけること。
 ※日米共同訓練において、矢白別演習場のほかに別海町西春別駅前市街地に隣接する滑走路(計根別着陸場)が輸送訓練等に使用されることが常態化している。住宅地付近上空を低空で大型輸送機が飛行するため、住民は恐怖と不安を感じている。さらに昨年10月には輸送機の飛行に驚いた牛の暴走事故が発生した。
- (3) オスプレイの飛行訓練は行わないよう強く求めること。
- (4) 関係機関に対し、矢白別演習場における自衛隊の軍事演習・訓練の拡大はやめ、縮小することを求めること。

5. 教育について

- (1) 教職員定数改善・教員増に向け、全力で取り組むこと。
- ① 教員の定数未配置が生じた場合には道として早急な対応を図ること。
 - ② 中学校の免許外の教科担任の解消に向けた制度や基準の改善。
 - ③ 小学校における専科指導教員の増員と恒久化を推進すること。
 - ④ 養護教諭や事務員の定数の改善。
 - ⑤ スクールバスが教職員の出勤時刻より早く学校に到着する日程表になっている場合、児童生徒の管理はどのようになっているのか調査を行うこと。
- (2) 学校における働き方改革の推進に資するスクールサポートスタッフ等の必要な支援スタッフについて配置の拡充。
- (3) スクールバスの運営費に対する財政支援の拡充。
- (4) 学校の新築、増築、改築、解体にかかる補助対象および国等の予算総額の拡充。
- (5) 見学旅行の引率等にかかる教員の旅費の増額を行うこと。
 ※修学旅行引率旅費が今年度も増額されず他の旅費から流用して対応している事例もあると聞きます。こうした実態を解消するよう手だてをとっていただきたい。

6. 地域医療の確保について

- (1) 医師の長期安定的な確保を図るための支援対策の確立。
- ① 医師の安定確保の支援対策としての財政支援を含めた諸施策を確立すること。
 - ② 臨床研修終了後、一定期間過疎地域等の医療機関に勤務させることを義務づける等、医師不足解消のための具体的方策を確立すること。
 - ③ 医師確保が困難な過疎地域等の医療実情を踏まえ、全国一律となっている医師配置基準について抜本的な見直しを行うこと。
 - ④ 新医師臨床研修制度の導入による問題点の検証と制度の改善を行うこと。

- (2) 自治体病院の施設整備や医療機器に対する財政支援措置の拡充。
 - ① 自治体病院運営費及び施設整備に対する補助制度の創設と、医療機器に対する補助制度を拡充すること。
 - ② 救急医療、高度医療、特殊医療などの不採算部門に対する財政支援制度を拡充すること。
 - ③ 医療機関に対する燃料・光熱水費・物価高騰支援を拡充すること。
- (3) 医療技術者の確保対策の推進。
 - ① 少子化が加速する中、地域における医療技術者等の人材確保を図るために、既存の専門学校等の養成施設への支援を道としても進めること。

7. 環境保全、安全な生活の確保に関して

- (1) 老朽管等の施設更新に対する補助の拡充を図ること。
- (2) 北海道が実施する海岸保全と侵食対策の事業を推進するための予算の拡充。

根室市 要望事項

1. 景勝地におけるトイレ等の施設整備について。

- (1) 観光客受け入れの環境を整備するため適切な維持補修の実施と長期的な計画策定による改修・整備をすすめること。
 - ① (道道根室半島線) 北方原生花園の駐車場トイレの修繕・改修。
 - ② (道道根室浜中釧路線) 浜松海岸駐車場のトイレの修繕・改修。

2. 野付風連道立公園の木道や駐車場の整備。

3. 総合体育館の建設にあたって、避難所としての機能に対する財政支援を図ること。

4. 病院の充実のための医療機器整備に対して、北方領土隣接地域振興等補助金を活用すること。

5. 旧北海道根室西高等学校(現根室市立柏陵中学校)に隣接する教員住宅について

- (1) 老朽化が著しいことから、今後も必要に応じて補修等の対応を行うこと。
- (2) 当該施設の今後の方向性(存廃等)を定める際には、根室市教育委員会等と十分な協議を行うこと。

標津町 要望事項

1. 補聴器の購入および調整にかかる費用に対する助成制度を創設すること。

以上